

<第4058回>

目的地：狼平・弥山・八経ヶ岳（大峰）

担当者：白神 智

実施日：2020年8月22日（土）～23日（日）

形式：テント泊

費用：近鉄 洞川温泉みたらい溪谷散策切符¥3,860- 天川川合⇄天の川温泉¥560- 天の川温泉¥700-

参加者：4名

岩谷多恵子・南美幸・山内一史・白神智

行程：

8月22日 天気：晴れのち雷雨

近鉄阿部野橋駅（7:20）⇒（8:31）下市口駅（8:47）⇒（9:40）天川川合→弥山登山口（9:55）→林道（11:55）→（12:25）標高1300m付近[昼食]（12:50）→（13:05）栃尾辻避難小屋[雨宿り]（14:40）→（16:40）高崎横手→（17:10）狼平[テント設営・夕食]（19:40）就寝

8月23日 天気：晴れ時々曇り

（4:00）起床（5:00）→（6:10）弥山（6:30）→（7:00）八経ヶ岳（7:10）→（7:25）明星ヶ岳→（8:05）日裏山手前[狼平ヘショートカット]→（8:40）狼平[テント撤収]（9:25）→（9:50）高崎横手→（11:15）栃尾辻[昼食]（11:35）→（12:35）林道→（13:55）登山口→（14:05）天川川合（14:14）⇒（14:24）天の川温泉[入浴]（15:25）⇒（16:35）下市口（16:54）[車内解散]

感想：

「ゆっくりイーブンペースで登りますね！」高らかに宣言後登山口からいきなりの急登に足を踏み入れました。久しぶりに背負ったテント泊装備が体全体にのしかかります。「あれっ俺今日ちょっとしんどいんだけど・・・でもみんなついて来てるし」程なく後方から休憩のリクエスト。一気に噴き出した汗を拭きながら、「ペースちょっと早いですか？」「早すぎる！こんなペース絶対無理」「すみません、ペース落とします」というか、落ちました。昼食をとった頃から、遠くでゴロゴロと雷が鳴り始めました。

栃尾辻に着いてリュックを下した途端大粒の雨が降り出しました。慌てて避難小屋の中へ。それから約1時間半、土砂降りとザーザー降りの繰り返し。これはもう狼平でテント設営は無理かもなどと考えていると、徐々に雨も小降りになっていき、空も明るくなってきましたので、雨具を着込んで出発しました。

狼平に近づくとつれ、地面の濡れ具合もそれほどではなくなり、テントの設営も可能かと思えてきました。

高崎横手から狼平へ下るルートで斜面が一部崩落している箇所があり、ルートを間違えてしまい、疲れた体に余計なアルバイトを課してしまいました。

狼平では他の登山者は一人もおらず、我々4人だけでした。避難小屋の中は非常に綺麗で快適そうに思えました。避難小屋に泊まる誘惑にもかられましたが、せっかく苦労して持ってきたテント、使ってあげないと可哀想ということで、全員テントを張りました。

夕食はそれぞれ個人で持ってきた食事です。いつになったらあの大きなコッヘルの出番がくるんでしょうか？

翌朝はまだ薄暗い5時出発。歩きやすい階段と登山道で標高をぐんぐん上げていきます。弥山頂上手前で振り返ると眼下には雲海が広がり、その中にまるで島のように小さな山々が浮かんでいました。弥山から一旦下って振り返れば、近畿最高峰八経ヶ岳です。360°の眺望を期待しましたが、いかんせんガスが出てきました。八経ヶ岳からはもう大きな登りはありません。少し気が楽になって油断していたのでしょうか。日裏山手前で赤テープに誘われて、狼平へ直接降りるルートに入ってしまった。テープは細かくついてあり、踏み後もかすかではありますが残っていましたので、直接狼平へ降りることとしました。ほどなくして、沢の音が聞こえてきて、避難小屋が見えました。ただやはりちゃんとしたルートではありませんので、お勧めはできません。

狼平は四方を山に囲まれていますので、まだテントに日光が直接当たっておらず、テントはまだ少し濡れたままでした。まあそれでも食料と水が減った分、昨日よりはちょっとだけ背中が楽になった気がします。

今日も昼過ぎ頃から遠くで雷が鳴り始めました。雨も時々樹林帯の間から降ってきます。うーん、どのタイミングで雨具を着るか、難しい問題です。そしていよいよこれはもうヤバイと思ったところで、雨具着用すると、歩き始めた途端、日が差してきました。まあいわゆる「登山あるある」の一つですかね。

当初予定していた時間より1時間早く下山できましたので、天の川温泉までバスで足をのばして、2日分の汗を流して帰路に着きました。